

令和7年10月に認可を予定する 乳児等通園支援事業の事業者について

子育て支援課 保育班

乳児等通園支援事業の認可について、児童福祉法第34条の15第4項の規定により、意見を求めます。

児童福祉法第34条の15（抜粋）

2 国、都道府県及び市町村以外の者は、内閣府令の定めるところにより、市町村長の認可を得て、家庭的保育事業等又は乳児等通園支援事業を行うことができる。

4 市町村長は、第2項の認可をしようとするときは、あらかじめ、～（略）～児童の保護者その他児童福祉に係る当事者の意見を聴かなければならない。

1 概要

事業所名	みどりが丘保育園			
事業所類型	一般型乳児等通園支援事業			
実施主体	社会福祉法人天光会			
事業所所在地	大網2800番地			
認可定員（人）	7			人
対象児	0歳児	1歳児	2歳児	
	○	○	○	
保育室等の面積	26.09			m ²
事業開始予定	令和7年10月1日			
備考	一時預かり事業と合同保育を予定			

※ 大網白里市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例に定める基準に合致することは確認済み

2 乳児等通園支援事業計画書

乳児等通園支援事業計画書 (管理運営に関する調査)

1 乳児等通園支援事業の区分 ※該当する口にレ印を記入すること。

区 分	☐ 余裕活用型
	☐ 一般型（在園児合同型）
	☒ 一般型（専用室独立実施型）
	☐ 一般型（独立施設実施型）

2 実施曜日・実施時間 ※基本的な実施曜日・時間を記入すること。

実施曜日	月曜日、火曜日、水曜日、木曜日、金曜日
実施時間	9：00～16：00

3 利用児童の送迎を施設が実施し、かつ自動車を使用 ※該当する口にレ印を記入すること。

利用児童の送迎時に自動車の使用の有無	☐ 有
	☒ 無

上記で有を選択した場合、自動者にブザーその他の車内の利用児童の見落としを防止する装置の有無

自動車にブザー等設定の有無	☐ 有
	☐ 無

4 運営上の確認事項 ※記載内容を確認のうえ、口にレ印を記入すること。

(1) 乳児等通園支援事業者と非常災害対策 少なくとも毎月1回、避難及び消火に関する訓練を行わなければならない	☒ 確認しました
--	--

(2) 安全計画の策定等 乳児等通園支援事業所における安全計画を策定し、当該安全計画に従い必要な措置を講じなければならない。	☒ 確認しました
---	--

(3) 乳児等通園支援事業所内部の規程 乳児等通園支援事業者は、当該事業の運営についての重要事項に関する規程を定めておかなければならない。	☒ 確認しました
--	--

※ (3) は認可申請時に必ず提出すること

乳児等通園支援事業計画書 (職員に関する調査)

1 定員と配置保育従事者等の数

【余裕活用型の場合に記載】

●施設種別要件確認

実施場所は認可保育所・認定こども園・地域型保育事業所 である。(○又は×)

●利用定員数・在籍児童数確認

令和7年10月時点の利用定員数(0歳児から5歳児)： 人

令和7年10月時点の在籍児童数(見込み)(0歳児から5歳児)： 人

※ 在籍児童数が利用定員数を上回る場合は乳児等通園支援事業(余裕活用型)の実施は不可
在籍児童数は令和7年10月1日現在の見込み数でご記入ください。

●乳児等通園支援事業に係る同時受入定員及び必要保育士数(保育所、幼保連携型認定こども園、保育所型認定こども園の場合)

	0歳児	1歳児	2歳児	合計
乳児等通園支援事業 同時受入定員				
在籍児童数				
児童数合計				
必要保育士数				

●乳児等通園支援事業に係る同時受入定員及び必要保育士数(小規模保育事業所等の場合)

	0歳児	1歳児	2歳児	合計
乳児等通園支援事業 同時受入定員				
在籍児童数				
児童数合計				
必要保育士数				

【一般型の場合に記載】

令和7年10月時点の利用定員数(0歳児から5歳児)： 170 人

令和7年10月時点の在籍児童数(見込み)(0歳児から5歳児)： 177 人

在籍児童数は令和7年10月1日現在の見込み数でご記入ください。

※ 上記は大網白里市から認可・認定を受けている施設のみご記入ください。

●乳児等通園支援事業に係る同時受入定員及び必要保育士数

人員	0歳児	1歳児	2歳児	合計
乳児等通園支援事業 同時受入定員	3人	2人	2人	7人
乳児等通園支援事業 必要従事者数	1.0	0.3	0.3	2.0
			内保育士数	1人

乳児等通園支援事業計画書
(施設に関する調書)

1 定員

(同時受入定員)

歳 児	人 数		
0 歳児	①	3	人
1 歳児	②	2	人
2 歳児	③	2	人
合 計	④	7	人

2 施設の面積等

※該当する□にレ印を記入すること。

室名等		実 際 の 面 積					基 準
		1 階	2 階	3 階	4 階以上	合計	
0・1 歳児 乳児室 又はほふく室		19				19	3.3㎡× (①+②)
		㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	16.50 ㎡
2 歳児 保育室 又は遊戯室		4.25				4.25	1.98㎡×③
		㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	3.96 ㎡
調理設備		☒ 有 ☐ 無					
便 所		☒ 有 ☐ 無					
火災報知器及び消火器		☒ 有 ☐ 無					

3 建物等の状況 (本市から認可・認定を受けている建物を使用する場合は記載不要)

※該当する□にレ印を記入すること。

建物	使用する権原	☐ 所有権(登記)	☐ 賃貸借契約	
		☐ 賃借権(登記)	☐ 使用賃貸契約	
		☐ ()		
	建物の概要	権利の期間	年 月 日 ~ 年 月 日	
		造	階建て	
		年築	用途(建物申請時の用途):	
		利用部分	階部分 ㎡	
		他の階の利用状況		
	耐震基準等	☐ 昭和56年6月1日以降建築(登記簿を添付)		
		☐ 昭和56年5月31日以前建築(その他資料を添付)		
	新築・改修工事を実施する場合の予定期間	着 工	年 月 頃	
		竣 工	年 月 頃	
土地		(使用する権原)	☐ 所有権(登記) ☐ 地上権(登記)	
			☐ 賃借権(登記) ☐ 賃貸借契約	
			☐ 使用賃貸契約 ☐ ()	
		権利の期間	年 月 日 ~ 年 月 日	

乳児等通園支援事業計画書
(食事の提供に関する調書)

1 食事の提供の有無

※該当する□にレ印を記入すること。

食事の提供	☒ 有 ・ ☐ 無
-------	--

2 食事の提供方法

※ 上記1で有を選択した場合のみ記入すること。

☒ 自園調理	
☐ 外部搬入	同一法人又は関連法人が運営する施設からの搬入も含む。

3 調理設備の有無

※ 上記2で外部搬入を選択した場合のみ記入すること。

調理設備の有無	☒ 有 ・ ☐ 無
必要な調理のための加熱、保存等の調理機能を有する設備の内容	(調理室がない場合、加熱、保存等のための調理機能を有する設備を記入すること。)

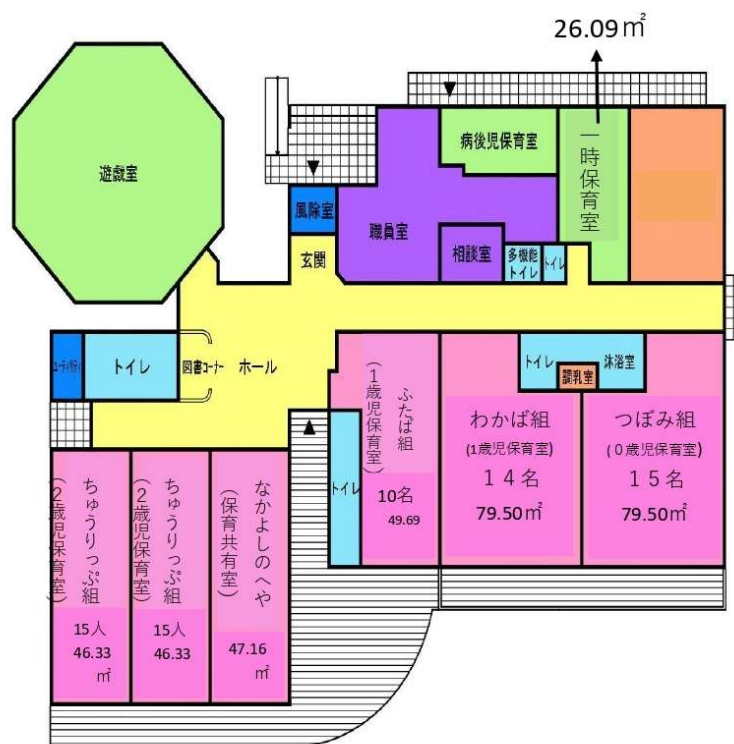
(参考) 大網白里市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例(抄)

第16条

乳児等通園支援事業者は、食事の提供を行う場合(施設外で調理し運搬する方法により行う場合を含む。)においては、

当該施設において行うことが必要な調理のための過熱、保存当の調理機能を有する設備を備えなければならない。

3 位置図・平面図



4 その他

公立では、子育て支援館で令和7年11月に事業を開始できるよう、条例改正等の手続を進めていきます。

(みどりが丘保育園と同じく、一時預かり事業との合同保育を予定)

